

ボランティアの心

子どもたちと一緒に

毎週木曜日は私の楽しみにしている日です。

その日は養護学校小学部の図工授業サポートに行く日だからです。個性豊かな、いろんな子ども達を見守りながら一緒に授業を楽しんだ後、教室の後片づけをして帰ります。

私のニコニコ顔と子どものニコニコ顔が出会った途端、チュー！をしてくれる子どももいます。

「すみません、この子チューが大好きなんですわ」と先生。（ハイ、私も大好きです）（笑）

図工の時間が始まると、ひとりずつ能力が違います。クレパスをなんとか握ることが出来る子、ていねいにカラフルに塗り上げる子…。先生は1人で2人ずつくらい見守りながら、皆の能力に合ったほめ言葉をかけて、やさしく接していらっしゃいます。

将来、社会参加が出来そうな子どもには、物事の



善悪をはっきりと示唆し、厳しく指導されるということです。また、ある時、私の見守っていた子どもが、クレパスの巻き紙を全部破っていったのですが、私

は「面白いの？むくのが大好きなんだね」と笑っていました。しかし、後から側に来られた先生は「皆が使うものだから破ったらダメよ」と注意されました。するとその子どもは、ひっくり返って足をバタバタとして暴れはじめました。先生は、大人が別々の対応をする、どうしていいかわからなくなってパニックになるのです。同じ叱り方をしないとダメなので、すず教えて下さいました。

このボランティアをしようと決めたときは、私にできるのだろうかと不安であり、勇気もいりました。でも今は、一緒にやってくださいませんか？の声かけをして（引きずり込んで？）仲間が5人に増えました。思えば阪神大震災直後の救援活動からずっと、何らかの活動に参加させてもらっています。

これからも灘区というローカル線で、この指とまれと声をかけながら、出来ることをやっていこうと思います。 飯井冴子（元グループわ事務局）

「賀川記念館」で語り部

著名な評論家大宅壮一は賀川豊彦を近代日本最大の人物と評した。ノーベル平和賞に3回ノミネートされ、ノーベル文学賞にも2回ノミネートされました。戦前の海外ではガンジー、シュバイツァーと共に世界の三大偉人とまで評された。それにもかかわらず、没後年月と共に「忘れられた人物」となってしまった。何故？



賀川が神戸で活動を始めて100年目の2009年に記念館のある神戸、東京および徳島で「賀川豊彦献身100年記念事業プロジェクト」が展開されました。

賀川豊彦の精神と実践を学び、それを多くの人に知らせて、共に生きる社会を目指すために役立てたいとの思いがプロジェクトの目的です。

その目的のために賀川記念館が再建されました。記念館は全て、デジタル化された映像により、賀川豊彦の精神と実践を知ることが出来ます。入口の大きなスクリーンで彼の生涯と活動の様子が一覧表で見られます。「愛は私のすべてである」「自分を捨て人のために為す」——分かち合いの社会、共に生きる社会を目指した実践の歴史を表わしています。

多くの分野で活動し、今の社会の仕組みの基を作り上げました。救貧と地域福祉、生活協同組合運動、労働組合運動、農民運動と共済運動、関東大震災救済、教育と医療、平和と人権と共済、教会活動と、各ブースに分かれていて映像と資料で活動の内容が判るようになっていきます。生涯300冊余りの著述を書きましたが、多くの蔵書が展示されると共に、パソコンより知識を得る事も出来ます。記念館では館内の説明と質問に答えるために「語り部」として、グループわ会員とカレッジ在校生の6人が活動しています。ぜひ、見学に来てください。 横井幸雄（福祉部会）

賀川記念館 月曜休館 神戸市中央区吾妻通5-2-20
(三宮より東へ徒歩15分、葺合警察署西) Tel. 221-3627

賀川豊彦 記念碑の除幕式と生誕祭

賀川豊彦の生誕地・中央区島上町1丁目の歩道に「生誕の地記念碑」が完成し7月10日、今井鎮雄シルバーカレッジ学長ら関係者で除幕式が行われました。

また同日、賀川記念館では生誕祭があり①記念館周辺のゆかりの地を歩く「賀川ウォーク」②記念講演「賀川豊彦のソーシャルワーク」（近藤哲郎・関西福祉大准教授）③映画「死線を越えて」の上映などの記念行事が行われました。